

# 主日礼拝

2026年3月15日  
午前10時30分

前奏 「ようこそ、慈悲あつきイエスよ」  
(J. S. バッハ)

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「主よ、呼び求めるわたしの声を聞き  
憐れんで、わたしに答えてください。  
心よ、主はお前に言われる「わたしの顔を尋ね求めよ」と。  
主よ、わたしは御顔を尋ね求めます。  
御顔を隠すことなく、怒ることなく  
あなたの僕を退けないでください。  
あなたはわたしの助け。  
救いの神よ、わたしを離れないでください  
見捨てないでください。  
父母はわたしを見捨てようとも  
主は必ず、わたしを引き寄せてくださいます。」  
(詩編 27:7~10)

## 頌栄 24 「たたえよ 主の民」

たたえよ主のたみ、みつかいととも  
に、  
めぐみにあふれるちち・子・せいれいを。  
アーメン。

## 受難節のリタニー

《受難節第5主日》

司式者：弟子たちと同じように私たちは、がっかりすることによって、なにもできなくなることがあります。これからは希望を失わないで、その希望による勇気と力で行動できるものとしてください。

会衆：主よ、私たちをあわれみ導いてください。

司式者：イエスさまがみずから十字架を背負いゴルゴダの丘へと歩まれ、すべての苦しみを引き受けられて息を引き取ったことをおぼえて、このろうそくを消します。(消火)

## 賛美 205-3,4 「今日は光が」

This is the day of light  
詞：John Ellerton, 1826-1893

INNOCENTS (ALL SAINTS)  
曲：The Parish Choir, 1850

3 きょうはへいわが みちあふれる日、  
4 きょうはみかみに とともにいのる日、  
あらそいさわぐ なみもしずまる。  
こころをたかく みまえにあげよう。

3 今日(きょう)は平和(へいわ)が 満ちあふれる日(ひ)、 4 今日(きょう)はみ神(かみ)に 共に(とも)いのる日(ひ)、  
あらそい騒(さわ)ぐ 波(なみ)もしずまる。 心(こころ)を高く(たかく) み前(まえ)に上げよう。

## 祈祷

## 献金

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。  
アーメン。

## 賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエ・エレイソン、 キリエ・エレイソン、  
主よ、あわれみ。 主よ、あわれみ。  
キリエ・エレイ - イソン。  
主よ、あわれ - みを。

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン  
主よ、あわれみを 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを

# 聖書 マルコによる福音書 9:2~10

新約(新共同訳)P78

2 六日の後、イエスは、ただペトロ、ヤコブ、ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。イエスの姿が彼らの目の前で変わり、3 服は真っ白に輝き、この世のどんなさらし職人の腕も及ばぬほど白くなった。4 エリヤがモーセと共に現れて、イエスと語り合っていた。5 ペトロが口をはさんでイエスに言った。「先生、わたしたちがここにいるのは、すばらしいことです。仮小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです。」6 ペトロは、どう言えばよいのか、分からなかった。弟子たちは非常に恐れていたのである。7 すると、雲が現れて彼らを覆い、雲の中から声がした。「これはわたしの愛する子。これに聞け。」8 弟子たちは急いで辺りを見回したが、もはやだれも見えず、ただイエスだけが彼らと一緒におられた。9 一同が山を下りるとき、イエスは、「人の子が死者の中から復活するまでは、今見たことをだれにも話してはいけない」と弟子たちに命じられた。10 彼らはこの言葉を心に留めて、死者の中から復活するとはどういうことかと論じ合った。

## 賛美 528 「あなたの道を」

Befehl du deine Wege  
詞: Paul Gerhardt, 1607-1676  
曲: Johann M. Haydn, 1737-1806  
BEFIEHL DU

1 あな たの -み- ち -を- 主 に ま- か- せ- て、  
2 どん なと- き- に- も- を- 主 に ゆ- だ- ね- よ、  
3 あく がし- は- い- し- お- ど- す- と- き- も、  
4 は し- る- べ- き- み- ち- を- は- し- り- お- え- て、

お も い- わ- ず- ら- い- 主 に ゆ- だ- ね- よ。  
-> あ な たの- わ- ざ- を- か- み- は- し- ゆ- け- る。->  
-> 栄 光 のみ- く- に- へ- か- え- る- そ- の- 日、->

く も とか- ぜ- に- も- み- ち- を- し- め- す  
-> い つ もあ- な- た- の- さ- き- に- す- す- み- >  
-> し ょ う り の かん む- り- あ- た- え- ら- れ- て->

か み は あ ゆ み- を- み- ち- び- か- れ- る。  
-> ひ か り- を- て- ら- し- め- み- ち- び- か- れ- る。  
-> よ ろ こ- び- の- う- た- と- も- に- う- た- お- う。

- |  |   |
|--|---|
| 1 あなたの道を 主にまかせて<br>思わずらい 主にゆだねよ。<br>雲と風にも 道を示す<br>神は歩みを 導かれる。  | 3 悪が支配し おどす時も<br>先立つ神は 戦われる。<br>目標めざす あなたのため<br>なすべき務め 与えられる。 |
| 2 どんな時にも 道を備え、<br>あなたのわざを 神は祝す。<br>いつもあなたの 先に進み<br>光を照らし 導かれる。 | 4 走るべき道を 走り終えて<br>栄光のみ国へ 帰るその日、<br>勝利の冠 与えられて<br>喜びの歌 共に歌おう。  |

# 説教 「栄光への架け橋」

## 賛美 507 「主に従うことは」

1. しゅにしたがう ことは なんとうれしいこと  
2. しゅにしたがう ことは なんというしあわせ  
3. しゅにしたがう ことは なんどころ づよい

こころのそらは かれて ひかりはてるよ  
わるいおもい きえて ころはすむよ  
おそれのかけ きえて ちからはますよ

(くりかえし)  
しゅのあとにつ づ きとも にすすもう  
しゅのあとにつ づ き うたつてすすもう

## 派遣

司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」  
会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

## 祝祷

## アーメン

ア-メン。 ア-メン。 ア-メン。

## 後奏 「ようこそ、慈悲あつきイエスよ」

(J. S. バッハ)

司式 塩治 みはる  
説教 向井 希夫牧師  
奏楽 玉理 照子